

(様式4号)

## まちづくりアドバイザー派遣結果報告書

令和6年4月16日

茨城まちづくりセンター  
運営委員長 殿

報告者(主催者) 日立市都市政策課

まちづくりアドバイザー派遣制度運営要項第6条の規定に基づき、次のとおり報告します。

実施日時	令和6年4月11日(木) 14:00~16:00
主催者の名称	日立市 都市政策課
講演会等の名称	日立駅前歩きたくなるまちづくりワークショップの振り返り
アドバイザー氏名	内山 征氏
実施場所	会場名 ヒタチエ5F会議室
参加者数	9名
講演内容(具体的に詳しく記入して下さい。)	
【演題】 日立駅前歩きたくなるまちづくりワークショップの振り返り	
【内容】	
地域主体の日立駅前歩きたくなるまちづくりの検討を進めるため、認定NPO法人日本都市計画家協会のプログラム(講師:株アルメック内山氏)を活用し、令和5年12月から令和6年2月にかけて合計3回の出前講座を実施した。また、出前講座の内容を踏まえて、令和6年2月23日に道路や広場など公共空間の活用を目的としたワークショップを実施したところである。	
今回は、地域主体の日立駅前歩きたくなるまちづくりを進めるため、このワークショップの振り返りを実施し、公共空間の活用における課題や問題点を話し合うとともに、令和6年度の新たな取組内容の検討を行った。	
感想など	
○ワークショップの振り返りについて	
・いわき市などの遠方からの参加者もあり、当日はにぎわいのある様子が見られた。	
・アンケート結果より、日立駅前には、ヒタチエがターゲットとする「子育て世代」が多く訪れており、「子ども」に関連するアクティビティが好まれる傾向にある事が分かった。	
○現在の日立駅前の課題等について	
・ヒタチエ(日立駅前)で出来ていないことは、「広域から人を集める」ことであり、日立市ならではの名物をつくるなど「観光」の分野を高めていく必要がある。	
・日立市は「産業のまち」のイメージがあるが、このイメージを変えていく必要がある	

る。

- ・ヒタチエの開業による賑わいの効果によって、周辺の空き店舗が2店舗程度、活用され始めている。
- ・空き店舗を活用して、まちづくりの活動拠点をつくることも有効である。
- ・コストや手間のかからないやり方で使いたい人が使いたいような場としていくことが重要である。

○今後の取組内容について

- ・今年度も官民が連携しながら、継続してまちづくりイベントを実施していき、地域の機運醸成を図っていく。
- ・今年度の取組をさらに次年度へとつなげて、まちづくりの方向性となるビジョンやロードマップの策定を行っていく。

<当日の様子>

